

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表											
○新患及び再来 ●予約のみ ▲午後再来(予約のみ) ※再来は原則予約制です											
科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名			
総合診療科	川本 徹				○		内科一般	副部長			
	総診当番医①	○	▲	○	▲	○	※当番医：内科系医師による交替制				
	総診当番医②	○	○	○	○						
消化器内科	青柳 邦彦		▲	○				副院長			
	平川 克哉	○		▲				副院長			
	工藤 哲司	▲	○					副部長			
	秋吉 大輔	▲			○		消化管 (食道・胃・小腸・大腸)				
	横手 章人	▲	○	○	▲						
	吉原 崇正	○			▲						
	内海 譲志	○		▲							
腎臓内科	満生 浩司	▲	○					部長			
	中井 健太郎	○	▲					副部長			
	宿理 朋哉		▲								
	古原 千明	○	▲								
	石松 由季子			○				腎臓			
	山岡 奈央										
	佐藤 克樹										
糖尿病・代謝・内分泌内科	佐々木 伸浩		○		○			部長			
	井元 博文			○	○			副部長			
	川本 徹	○			●						
	於久 真由美	●		○	○		糖尿病・代謝・内分泌、生活習慣病				
	藤平 美佳	○	●	●	●		※内分泌新患は火・水・金のみ				
	大村 華	●	●	●							
	中川 瑞穂	▲	▲	▲	▲						
循環器内科	向井 靖	○	○	○				部長			
	増田 征剛	○			▲			副部長			
	松川 龍一	▲		○							
	松浦 広英	○	▲					副部長			
	戸伏 優之	▲			○						
	本田 修造	○						循環器			
	徳留 正毅		○								
	河合 俊輔	○									
	岡原 有秀				○						
	岡部 浩祐										
	酒見 拓矢										
	生田 拓										
	渡部 優										
高血圧内科	大坪 俊夫	○					高血圧	部長			
呼吸器内科	河口 知允	○		○				部長			
	増本 駿	▲									
	平田 慎治	▲		○			呼吸器一般				
	長谷川 真紀	○		▲	▲						
	河野 拓	○									
肝臓内科	早田 哲郎	○	○	○				部長			
	西澤 新也	○		○				部長			
	松元 慶亮						肝疾患一般				
	宮山 隆志										
血液・腫瘍内科	谷本 一樹		○	○				部長			
	平安山 英穂			○				副部長			
	河野 駿郎	○					血液疾患一般	副部長			
	次郎丸 高志				○		固形腫瘍の化学療法				
脳神経内科	北山 次郎	○		○				部長			
	岡田 韶也		○	○	○						
	佐原 篤之		○				脳卒中・神経疾患				
	池内 泰仁										
膠原病内科	井上 靖	▲	○	○	○			部長			
	田中 淳	○		○			膠原病				
	才木 審										
感染症内科	石丸 敏之		○		○		感染症一般	副院長			
	後藤 健志			○			※金は午後のみ(13時~15時受付)				
	横山 寛士										
外科	中房 祐司	○						院長			
	永井 英司			○				副院長			
	本山 健太郎	○	▲					部長			
	小島 雅之	○		○				部長			
	上田 純二	○			○		一般外科	部長			
	井上 重隆	○		○			消化器外科、肝胆脾外科				
	小倉 康裕	○		○			乳腺・内分泌外科				
	梁井 公輔	○		○			呼吸器外科				
	安井 隆晴	○		○			腹腔鏡下・胸腔鏡下手術				
	松田 圭央	○		○			腎移植・腎不全外科				
	松永 壮人	○		○			ERCP・PTCD・EST				
	中房 祐樹	○		○				副院長			
	鬼塚 哲	○		○	○						
	森崎 隆史	○									
	畠井 三四郎										
	非常勤										
心臓血管外科	小江 雅弘	○		○			心臓外科、大動脈瘤	部長			
	元松 祐馬	▲		▲			血管外科				
	総 仁	○		○			※火・木のみ				
脳神経外科	吉岡 習	▲	▲	○			脳腫瘍	部長			
	三木 浩一	▲	○	▲	▲		脳血管障害(脳卒中)	部長			
	高木 友博	▲	○	▲	▲		脳神経外科疾患				
	非常勤						※水は手術日です				

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表											
令和3年1月現在											
科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名			
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般・尋常性乾癬 アトピー性皮膚炎 ※火・木は10時まで、再診は完全予約制	部長			
眼科	奥竹 景介	○	○	○	交替制	○	糖尿病網膜症 白内障・緑内障 ※火・木は10時まで、再診は完全予約制 第1・3・5火曜日は新規のみ	部長			
整形外科	大石 誠一郎	○	交替制	○	定期手術日	○	脊椎・脊髄外科 関節外科・リウマチ外科 脊椎・脊髄外科	副院長			
	三股 政英	○	交替制	○			外傷	副院長			
	非常勤	○					手術	部長			
	泊 真二	○					手術	副院長			
	伊藤 康正	○					手術	部長			
	加藤 刚	○					手術	副院			



福岡赤十字病院
院長
中房 祐司

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。昨年は新型コロナウィルス感染症(以下、コロナ)にて全世界が大変な影響を受けました。この感染症は医療現場だけではなく、経済にも極めて大きなダメージを与えることになりました。今のところ、コロナに対しては特効薬や確立された安全なワクチン療法がありません。したがって、感染が広がらないように社会的に収束させるしか方法はあり

ません。社会的感染収束にはロックダウンや外出・会食自粛など人々の行動制限が有効であり、この制限が経済に大打撃をもたらすという大変皮肉な関係を作り出しました。制限を続ければ、経済的に生きていけない人たちを無数に生み出しまいます。グローバル社会では未経験のウィルスパンデミックであり、世の中の在り方が大きく変化てしまいそうな状況です。

しかし、感染爆発を起こしていない日本

の状況に限定して考えると、この冬を乗り越えれば1年を通してのこの感染症に対するおおよその対応法が経験的に分かるように思います。国内のコロナ受入医療機関では、現在使える薬剤を用いてある程度重症化を防ぐ方法も決まってきました。さらに、今年前半には有望なワクチンが手に入る可能性もできました。私は、今年の日本はこの未曾有の大規模災害とも言えるコロナ禍から抜け出し、必ず明るい年になると信じております。

昨年、当院は感染症指定医療機関として多数のコロナ患者さんの入院診療を行って参りました。4~5月は緊急事態宣言により、来院される患者さんが大幅に減少しましたが、それ以降は一般患者さんの診療も一昨年とほぼ同レベルで継続することができました。地域の基幹病院として、医療崩壊を起こすことなくコロナ診療と通常診療の両方を継続でき、医療体制を維持できたことに安堵致しております。これはコロナ患者受入病院がお互いに分担・協力してきたこと、私設病院や診療所の先生方にもコロナ診断のための検査のご負担を頂いたことが大きいと感じております。当地域の医療機関の良好な連携、協力体制によるものと感謝致しております。

さて、今後に目を向けると、コロナ禍の経済的ダメージは国の税収を減らし、大規

模な補正予算と併せて国の財政を圧迫することは明白です。「コロナ復興税」に留まらず、昨年据え置かれた地域医療構想における病院の再編・統合の議論が再燃、加速することが予測されます。福岡赤十字病院も地域における存在意義を認められるような確かな変貌を遂げる必要があると考えております。地域のニーズに目を向け、しっかりと応えられるように対処していく所存です。

本年も皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

令和3年1月吉日

Cross
Heart



福岡赤十字病院の 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

2019年の年末に中国で発生したとされる新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全世界に広がり日本においては2020年末に第3波を迎えています。

当院は感染症指定医療機関として、早期から積極的に対応してまいりました。



半年以上対応する中でこの感染症の二つの特殊性が見えてきました。一つはほとんど症状のない感染者からも感染が広がるという事。もう一つは、普通の会話ですらマスクをしていなければ感染する事があり、さらに大声や歌を歌う事でそのリスクが格段に大きくなると言う事です。自分は感染していると自覚できればほとんどの人は他人に感染させないようにマスクをつけたり、外出を控えたりできますが、症状がない人は知らず知らずの内に、大事な人にも感染を拡大させてしまうのでやっかいです。しかも基礎疾患がある人や高齢者では重症化率が高く、なかなか侮れない感染症でもあります。

このような状況から、できるだけ当院を受診された患者さんに感染が広がらないように、患者さん、ご家族には来院時のマスク着用、病院入り口の制限、発熱チェック、面会の制限などをお願いし御不便をお掛けしておりますがご容赦ください。



スタッフ一同にも、病院内に感染を持ち込まないように、勤務中はもちろんの事、日常生活においても極力感染リスクを避けるように自粛の協力をお願いしています。

当院でクラスターが発生せずに今に至っているのは、皆さん全員の協力のおかげと感謝しております。

新型コロナウイルスへの対応が長期化し少し気分がめいといった時は、病院周囲のビルの窓ガラスに掲げられた励ましの言葉に気持ちを奮い立たせています。



もうしばらく、
みんなで頑張ってまいりましょう。

新型コロナウイルス感染症 まん延下での災害救護活動

8/18 (火) 取材 BS日テレ



当院の救急科：友尻部長がBS日テレ「新型コロナウイルス感染症まん延下での災害救護活動～」の収録に参加しました。インタビューには日本テレビ系列の朝の情報番組「zip！」でお天気コーナーを担当している貴島明日香さんを迎、ソーシャルディスタンスをとり、感染防止対策を行ったうえでの収録となりました。



番組は30分間あり、感染症対策を取りながらの災害救護活動の難しさなどの話があり、実際の災害対策本部の映像も流れました。災害時における日本赤十字社の活動を知ってもらうきっかけになったのではないかでしょうか。

今回の取材は

9月13日(日) 12:00~12:30 BS日テレ

『新型コロナウイルス感染症』まん延下での災害救護活動～で放送されました！

実際の放送シーン



▲ DVDになりました

地域医療連携室より新年の挨拶



地域医療連携室長

青柳 邦彦

Information

経腸栄養分野の誤接続防止コネクタ国際規格製品の導入について

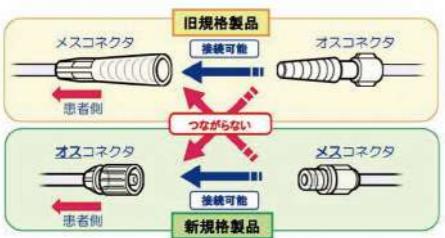
重要な
お知らせ

2017年10月厚生労働省通知「相互誤接続防止コネクタに係る国際規格の導入について」が発出され、経腸栄養分野においては、2019年12月より導入がスタートしています。

当院では、2021年3月導入を目標に、準備を進める予定です。

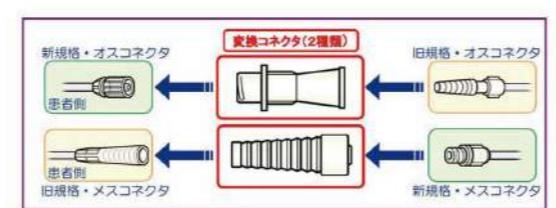
地域連携施設におかれまして、国際規格製品を既に導入されている場合は、事前にご連絡を頂けますと、変換コネクタ等での対応をさせて頂きます。

国内導入される誤接続防止コネクタ (経腸栄養分野)について



新規格と旧規格のコネクタは接続できません

変換コネクタの準備



新規格と旧規格の接続には「接続コネクタ」が必要となります。

詳細については、随時 当院ホームページやFAX等でご案内しますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。[誤接続防止コネクタ導入について](#) [検索](#) 医療安全推進室・地域医療連携室

地域医療連携室より新年の挨拶

地域医療連携室より新年のご挨拶申し上げます。

当院は地域の医療機関(かかりつけ医等)と積極的に連携を行っています。

そして病院を受診される皆様およびご家族のニーズを理解し、求められる最良の医療を提供することにより、地域との信頼関係を築ける病院を目指しています。地域医療連携室は医師、看護師、社会福祉士、事務職員など、多職種で構成され、紹介患者さんの受け入れ、患者さんからの相談対応、退院に向けての在宅療養支援、転院先調整、社会福祉相談などを行っています。

最近では医療機関から紹介された患者さん向けの外来診察時間予約枠を拡充し、紹介医からの時間予約であれば診察待ち時間を短くできています。今年4月からは入退院支援センターを開設し、スタッフが各科担当医師と連携し、入院前から積極的な患者支援を行うことにより、すべての入院患者さんがより一層安心・安全に治療、手術、検査を受け入れられるようになる予定です。

このように質の高い医療と看護、さらに真心あるサービスを充実させて、患者さんのご期待に応えていきたいと考えています。地域医療を支援する病院の窓口として当院の連携室を是非活用していただければ幸いです。今後ともよろしくお願ひいたします。

Cross Heart 地域とともに! 登録医紹介

当院の基本理念である「信頼と調和に基づく最良の医療～地域を尊重、世界を視野に」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

医療法人佐田厚生会 佐田病院

Q 病院の診療内容・特色

1991年に福岡市で初めて行った胆石症に対する腹腔鏡下胆囊摘出手術は、2020年11月5日現在で累積症例数は9,700例を突破しました。これは日本でトップの症例数です。また鼠径ヘルニアの手術数は九州でトップです。

整形外科においては、脊髄脊椎疾患の治療に強みをもっており、椎間板変性・ヘルニアや椎間板すべり症、腰部脊柱管狭窄症の手術症例数は福岡県内でもトップクラスの実績を持っています。最近では肩外来を開設し、肩関節の治療・手術も行っています。

消化器内科においては食道・胃・十二指腸・小腸・大腸の検査を毎年4,000例超行っています。また、検査だけではなく早期がんに対する治療法である内視鏡的ポリープ切除術、内視鏡的粘膜切除術(EMR)、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)も積極的に行っています。

循環器内科では通常の診療以外にも高血圧、糖尿病、脂質異常症などの改善、予防を目的とした心臓リハビリテーション、肝臓内科ではC型肝炎治療を中心に行ってています。

Q 地域の皆様へ一言

当院は理事長の祖父である佐田正人が1940年に病床数14床の外科病院として開業し、昨年創立80周年を迎えました。昔から「佐田外科」として知られてきましたが、現在は外科のみならず整形外科や内科の分野も幅広く診療しています。病床180床の中規模病院ですので、大病院のような敷居の高さはなく、また西鉄・地下鉄薬院駅から徒歩3分と交通至便な場所にありますので、何か悩みごとやお困りごとがあるなら、身近なかかりつけ医としてお気軽にご相談ください。これからも多様化する患者さんのニーズに応え、皆様のお役に立ちながら90周年、100周年が迎えられるように職員一同日々努力研鑽に励んで参りますのでよろしくお願い申し上げます。



理事長 佐田 正之
院長 藤原 将巳 先生
住所 810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目4番28号
TEL 092-781-6381
診療科目 外科、内科、整形外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、肝臓内科、糖尿病、内分泌内科、内視鏡外科、胃腸・大腸・胆嚢・肛門外科、呼吸器外科、腫瘍・疼痛緩和外科、腫瘍内科、リハビリテーション科、放射線科、ペインクリニック外科、麻酔科
診療時間 月～金 8:30～17:30 土 8:30～12:00
急患は24時間、365日受付
ホームページ <http://www.sada.or.jp>

はちすが産婦人科小児科医院

Q クリニックの診療内容・特色

1962年に当院はここ福岡市中央区清川に開業し、地域の皆様のご協力により、おかげさまで60周年を迎えようとしております。当院は産婦人科常勤医2名、小児科常勤医1名で、スタッフは約50名です。産婦人科では分娩に対応しています。妊婦健診では最新の超音波機器を用いて、丁寧に超音波診断を行なっております。待ち時間もなるべく少なくなるよう努力しておりますが、土曜午前は混雑しています。また、小児科とともに母児の産後健診を行っております。

ご来院いただくのは近辺の方が多いですが、長く続いていることもあり、親子2代にわたって当院でご出産されたご家族もいらっしゃいます。今後も地域の医療機関とさらに連携を深め、地域に根ざしたクリニックを目指します。またお互いに顔が見える診療を心掛け、一人ひとりと向き合っていきたいと思います。開院以来変わらぬアットホームな環境で、皆様のご出産をサポート致します。

Q 地域の皆様へ一言

初代院長の祖父が一昨年に亡くなり、それを機に3代目の院長に就任しました。長く続いているクリニックとして、今後も地域に根ざしたクリニックであり続けたいと思います。私自身、福岡赤十字病院を含め福岡都市圏の周産期における基幹病院で修練してまいりました。各病院の特色も把握しておりますので、適切な紹介ができると思います。

いかなる場面でも妊婦さんの気持ちに寄り添えるように、また、安心してお任せいただけるように、日々の診療を行なっております。お気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。



▲院長とスタッフの皆さん



院長 蜂須賀 正紹 先生
(日本産科婦人科学会認定専門医)
(日本周産期・新生児医学会認定母体・胎児専門医)
(母体保護法指定医)
住所 810-0005 福岡市中央区清川 3-20-9
TEL 092-531-0282(産婦人科)
092-524-1058(小児科)
診療科目 産婦人科・小児科
診療時間 (産婦人科) 平 日 9:00～11:30, 14:00～16:30
木・土曜日 9:00～11:30
(小児科) 平 日 9:00～12:30, 14:00～17:30
木・土曜日 9:00～12:30
休診日 木・土曜午後、日曜・祝祭日
ホームページ <http://www.hachisuga-c.com/index.html>